

雨高養だより

北海道雨竜高等養護学校

第2号

☎0125-78-3101

学校ホームページ <http://www.uryuukoyo.hokkaido-c.ed.jp/>

令和6年12月25日発行

【2学期を振り返り】

校長 佐伯正文

まだ気温が25℃を超える日が多かった8月下旬に2学期の始業式を行い、生徒のみなさん一人一人の元気な笑顔に触れた日から、4ヶ月がたちました。季節は短いと感じられた秋を通り越し、一面雪景色の冬を迎えました。この4ヶ月間で季節も大きく変わりましたが、生徒のみなさん一人一人が大きく成長した4ヶ月間でした。2学期が始まって間もなく、それぞれの学年の現場実習がありました。1年生は、初めての現場実習でしたので、不安やとまどいも多かったことと思いますが、それぞれの職場での5日間を体験し、働くことの意義を学ぶとともに、これからの作業学習などで自分の目標が見付かったことでしょう。

2年生は、昨年の実習からそれぞれの目標に向かって努力を続けた1年間の成長を、10日間の実習で試す良い機会になったことでしょう。そしていよいよ3年生に向けて、自分の希望する進路実現に向けて力を付ける1年となりますね。

3年生は、それぞれが希望する進路先に向け、これまで身に付けてきた力を十分に発揮できた実習となったことでしょう。3年生一人一人の入学してからの成長は、素晴らしいものですので、きっと良い結果が得られると信じています。

11月の学校祭では、多くの御家族の皆様や卒業生のみなさん、地域の方々に御来校いただき、開催することができました。舞台発表では、どの学年もそれぞれの良さを生かし、一人一人が練習の成果を十分に発揮した素晴らしい発表でした。午後からの学科販売も大盛況で、生徒が一つずつ心を込めて丁寧に作った製品を、たくさん手に取って購入していただきました。ありがとうございました。

先日、今年の漢字は「金」との発表がありました。生徒のみなさんがこれまで頑張ってきた姿は「金メダル」級ですし、みなさんの笑顔はパリオリンピック女子やり投げの北口榛花選手の笑顔と同じくらいステキなものです。本校は、これからも「生徒一人一人が生き生きと輝き 挨拶と笑顔があふれる 学校づくり」を目指します。

【学校祭の様子】

1学年の学校祭は、「助け愛」というテーマのもと「仲間と、ともに」という劇を中心とした器楽、ダンス、合唱を組み合わせた演目を行いました。初めての学校祭ということで苦戦することはありました。しかし、4月から培った力を存分に発揮して「助け愛」というテーマどおりに、話し合いを重ねて、自分たちと向き合い、お互いの事を思いやりながら発表を作りあげることができました。学校祭を乗り越えた31人は一回り頼もしくなったように思いました。生徒の皆さんのさらなる成長を期待しています。



2 学年は「なりたい自分・めざす自分」をテーマに、書道パフォーマンス、詩の朗読、ダンス、器楽、合唱を盛り込んでステージを作りあげました。ステージの内容は「失敗や挫折」「努力」「めざす自分」と2年生が歩んできた道のりを3部構成で表現しました。昨年よりも、グループ練習では仲間同士で表現方法や工夫を話し合い、1つのステージを作ろうと切磋琢磨していたことに成長を感じることができました。ステージを観にきてくださった保護者の皆様、ありがとうございました。



高校生活最後の学校祭。最後だからこそ、3学年にとって新しいことを…と「合唱（ゴスペル風）」に挑戦しました。3年生にもなると準備期間が短くなったことなんて関係ありません。劇もダンスも合唱も、どうしても上手にできるのか、どうしてもお客様に伝わるステージにすることができるのかを、自分たちで考え、アイデアを出し合いながら仕上げていきました。終演後の笑顔と涙、練習でも本番でもやりきった感いっぱいの輝きを魅せてくれた31名の生徒たちに… Oh happy day！

【後日祭の様子】

3週間前から生徒会役員と各学年から選出された実行委員で活動してきて、当日を迎えました。今年度は、昨年と日程や時間が異なり限られた中での実施でしたが、生徒会と実行委員会のメンバーが準備期間から考え、計画してきたフリーステージや「クイズ雨高王」「ウネスに挑戦」を行いました。当日は、各学科、学年の枠を超えて協力しながら、活動し学校祭の全日程を終えました。



【現場実習の様子】（1 学年）

今年度1年生の実習は9月25日（水）から10月1日（火）までの5日間で、土日を含んだ実習となりました。一部体調不良の生徒も出ましたが、生徒たちは精一杯実習に臨みよく頑張っていました。現場実習はうまく無難に終わることがベストだとは考えてはいません。現場実習の結果よりも大切なことは、実習を通じて一つでも多くの学びを得たのかどうかということです。現場実習の結果を振り返って、少しでも自己理解につながる事ができたなら、その結果は1年後2年後と、卒業する3年生になったときにきっと生かされることと考えます。

【現場実習の様子】（2 学年）

9月9日より平日9日間の現場実習を無事に終わることができました。昨年から、2学年では一部の生徒が自宅から自分の住む地域の企業に通う形態を取り入れていましたが、生徒本人はもとより保護者の方も、卒業後を見据えた実践的かつ効果的な学習となりました。また、生徒や保護者の進路希望と日々教職員が把握している適性などを総合的に検討した上で、自動車整備工場や託児所、幼稚園など新たな実習先を開拓し実施に至りました。引率形態も、1年に1度の機会を最大限生かすため、作業に内容や場所の変化だけでなく違う学科の仲間や教師と一緒に実習するように設定し、卒業後に必ず訪れる様々な状況や人々と働くことを想定した体験の拡充に努めました。実習後には、生徒、学級担任、進路担当との進路面

談期間を設け、実習の手応え、気付いた自身の課題、そこから考える現在の進路希望などを話し合うことで、切れ目のない進路支援を継続しています。

【現場実習（前提実習）の様子】（3学年）

3年生の前提実習は「入社試験」と同様であるため、本人だけでなく保護者にとっても試される実習になることを懇談などで伝えてきました。今年度は、その趣旨を理解していただき、家族の支えを基盤として、生徒たちは安心して実習に行くことができました。ありがとうございました。また、お礼の挨拶に行く先々で、生徒一人ひとりが持つ可能性を感じました。卒業までの時間は、新生活のスタートのための準備期間です。手続きなどもありますので、今後も連携しながら進めていきます。

【雨竜中学校との交流の様子】

今年度も1年生は、雨竜中学校の3年生と交流学习を行いました。1回目は雨竜中学校の生徒に来校していただき、作業学習を通して交流をしました。自分たちが学んできたことを、手本を見せて伝えたり、時にアドバイスをしたりと緊張しながらも積極的に声を掛ける姿が見られました。2回目は雨竜中学校



に訪問し、中学生が考えたゲームや調理、運動を通して交流しました。中学生の説明を聞いてやり

方やルールを理解し、互いに笑顔で楽しんでいました。開校から継続してきたこの交流学习は、生徒たちの社会性を育む良い機会となりました。



【3学期の主な予定】

- 1月20日（月）第3学期始業式（2計測があります。ジャージをお忘れなく。）
- 1月30日（木）帰省日（金曜日ではありません。御注意ください。）
- 1月31日（金）令和7年度入学者選考検査（学校は休みです。）
- 2月3日（月）令和7年度入学者選考検査（学校は休みです。）
- 2月7日（金）3学年進路懇談会
- 2月10日（月）休業日
- 3月7日（金）第39回卒業証書授与式
- 3月14日（金）1,2年保護者懇談会
- 3月20日（木）春分の日（授業日）
- 3月21日（金）第3学期終業式

